

平成 2 5 年度 部局経営方針

商工観光部長 末永 隆光

1 部局の使命と基本方針

◆部局の使命

商工観光部は、市内商工業の振興、中心市街地活性化、企業立地支援、地域公共交通の整備、川内港の物流・交流の拡大及び国際交流の促進を図るとともに、シティセールスを総合的かつ積極的に推進し、市の知名度・好感度の向上、観光交流人口の増大、物販等による外貨の獲得により、雇用の創出、市民所得の向上を図り地域経済の発展に寄与します。

◆部局の基本方針

- ①中小企業育成、企業誘致等により雇用の確保を図ります。
- ②効率的で利便性の高い地域公共交通の充実を図ります。
- ③交流人口や物産販売の拡大により観光産業の育成を図ります。

2 部局内の経営資源（平成 2 5 年 4 月 1 日時点）

当初予算		2 3 . 8 億円（A）【歳出予算比率 4 . 8 %】		
構成人員		職員（B）	嘱託	計
	職員数（人）	3 4	8	4 2
	職員比率【B / 市職員 1, 108 人】		3 . 1 %	

3 重点目標

●商工業振興・雇用対策

- ・原発 1 ・ 2 号機の長期運転停止や F I M の撤退に伴う地域経済対策や雇用対策に取り組みます。
- ・起業・転業、異業種参入による新産業育成や次世代エネルギー産業など成長戦略ビジネスを支援します。
- ・雇用創出貢献報奨金制度など企業立地支援制度の活用により、5 社、1 0 0 人以上の企業を誘致します。
- ・市内産品の輸出促進など川内港の利活用促進により、コンテナ取扱量 2 万 T E U を目指します。

●地域公共交通対策

- ・平成 2 6 年春の川内甕島航路開設に向け、高速船の建造、川内港待合所の整備、シャトルバスの導入、運賃の低額化など、ハード面ソフト面の環境整備を図ります。
- ・コミュニティバスのデマンド化など、利便性が高く効率的な地域公共交通網の充実を図ります。

●観光・シティセールス対策

- ・観光・物産に関する顧客価値を高めながら、満足度とイメージアップの向上を図り、本市への年間観光入込客 2 6 5 万人を目指します。
- ・「旅」、「食」、「品」を絡めた観光誘客、物産販売等により、株式会社薩摩川内市観光物産協会の売上高 3 千万円（市委託分を除く）を目指します。
- ・ぽっちゃん計画 2 期事業として、上甕島、下甕島、市比野、入来麓、向田地域において、地域おこし協力隊による地域振興に取り組みます。